

1. 科目名 (単位数)	精神科ソーシャルワーク論 I (2 単位)	3. 科目番号	SCMP2126 SPMP2426
2. 授業担当教員	長谷川 行雄		
4. 授業形態	講義、集団討議、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	相談援助を実施するにあたって、基礎となるべき事柄を学ぶ。特に本授業では総合低包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含めた精神保健福祉士の役割と意義について学ぶ。さらに同じ相談援助の専門職である社会福祉士の役割と意義について学ぶとともに、人権尊重、社会正義、利用者主体などの相談援助の理念について理解を深め対人援助の専門職としての基盤を養うことを目的とする。		
8. 学習目標	以下の点について理解することが期待される。 ①精神保健福祉士の役割と意義 ②社会福祉士の役割と意義 ③相談援助の概念と範囲 ④相談援助の理念		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	課題レポート① 「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義 (2014)」を熟読し、「定義」、「中核となる任務」、「原則」、「知」、「実践」から一つを選択し、その解説と、自分が精神保健福祉士になった時にどのように実践に活かすかについて論述しなさい 課題レポート② 「精神障害者のリカバリーを支えるとはどういうことかについて論述しなさい」		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会『精神保健福祉士養成セミナー 3 (第6版)「精神保健福祉相談援助の基盤[基礎][専門]』へるす出版、2017。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 精神保健福祉士の相談援助に必要な基礎的内容を理解することができているか。 2. レポート課題にそった内容が論理的に述べられているか、正しい文法表記、適切な用語と漢字で記載されているか、提出期限が守られているか。 3. 授業を受ける基本的マナー (出席状況、持ち物、提出物など) および授業に積極的に参加しているか。 ○評定の方法 1 期末試験 : 総合点の 40% 2 レポート : 総合点の 40% 3 授業態度 : 総合点の 20%		
12. 受講生へのメッセージ	精神科ソーシャルワーク論 I・II は精神保健福祉士の専門性を学ぶ上での基盤となる内容で連動して構成されている科目です。事前学習と事後学習をしっかりと行って授業に臨み理解を深め単位を落とすことのないようにして下さい。この科目が理解できることで、精神保健援助技術論、演習、実習へとつながることができまますので、しっかりと学ぶよう心がけて下さい。当然のことですが、欠席、遅刻、早退をしないことはもちろんのこと、授業中には集中して積極的に参加して下さい。		
13. オフィスアワー	別途通知する (時間割表掲載のオフィスアワー欄参照)。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	近年の精神保健福祉の動向 精神科ソーシャルワーク論を学ぶ意義 精神科ソーシャルワーク論 I の授業概要	事前学習	「刊行にあたって」を読み近年の精神保健福祉の動向をまとめること。
		事後学習	「入院から地域へ」に至る背景と、精神障害者の地域生活支援の重要性についてまとめること。
第 2 回	精神保健福祉士の役割と意義① 精神保健福祉士成立に至る歴史的経緯	事前学習	テキスト pp. 1~13, pp. 129~137 を読んでくること。
		事後学習	精神保健福祉士が国家資格として成立するに至る経緯をまとめること。
第 3 回	精神保健福祉士の役割と意義② 精神保健福祉士の専門性と社会福祉士の専門性	事前学習	テキスト pp. 14~19 を読んでくること。
		事後学習	法律で規定されたそれぞれの役割と機能をまとめること。
第 4 回	精神保健福祉士の専門職倫理① 日本精神保健福祉士協会倫理綱領	事前学習	日本精神保健福祉士協会の倫理綱領を読んでくること。
		事後学習	現行の倫理綱領に至る背景についてまとめること。
第 5 回	精神保健福祉士の専門職倫理② 専門職倫理とジレンマ 事例によるディスカッション	事前学習	想定される専門職倫理とジレンマについて考えてくること。テキスト pp. 61~69 を参考にすること。
		事後学習	事例におけるジレンマ分析をふり返り、倫理綱領がどのように機能するのか考察すること。
第 6 回	ソーシャルワークの形成課程と精神保健福祉士① ソーシャルワークの発展過程	事前学習	テキスト pp. 43~60 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの発展過程を時系列で整理すること。

第7回	ソーシャルワークの形成課程と精神保健福祉士② イギリスにおける精神保健福祉の歴史	事前学習	テキスト pp. 43～60 を読んでくること。
		事後学習	イギリスにおけるソーシャルワークの歴史とわが国への影響についてまとめること。
第8回	ソーシャルワークの形成課程と精神保健福祉士③ アメリカにおける精神保健福祉の歴史	事前学習	テキスト pp. 129～130 を読んでくること。
		事後学習	アメリカの精神保健福祉発展の理解とわが国への影響をまとめること。
第9回	ソーシャルワークの形成課程と精神保健福祉士④ イタリア、北欧における精神保健福祉の歴史	事前学習	イタリアの脱施設化について、文献などを探して調べてくること。
		事後学習	イタリア、北欧における精神保健福祉の歴史と新しい取組みについてまとめること。
第10回	相談援助の範囲と概念① ソーシャルワーク専門職のグローバル定義「定義」、「中核となる任務」、「原則」、「知」、「実践」	事前学習	テキスト pp. 35～43 を読み、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義について考察してくる。
		事後学習	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義に関する課題レポートを作成すること。
第11回	相談援助の範囲と概念② ソーシャルワーク実践の総合的理解	事前学習	これまでの学習を通して、ソーシャルワークとは何かについて考察をしてくる。
		事後学習	ソーシャルワーク実践の価値、目的、領域、対象、方法などの概要を体系的にまとめること
第12回	相談援助の価値と理念① ソーシャルワークの支援関係における価値と理念 利用者主体と自立支援、協働による支援関係とは ディスカッション	事前学習	テキスト pp. 61～75 を読み、支援関係の転換についてまとめること
		事後学習	ディスカッションを通して考えた協働による支援関係についてまとめること
第13回	相談援助の価値と理念② 人権尊重、社会正義、社会的包摂、ノーマライゼーション、キーワードに基づくディスカッション	事前学習	テキスト pp. 61～75 を読み、人権の尊重、社会正義などについて考えてくること
		事後学習	授業で学んだ価値と倫理のキーワードについてまとめること
第14回	相談援助の価値と理念③ 尊厳の保持、権利擁護、エンパワメント、リカバリー、キーワードに基づくディスカッション	事前学習	テキスト pp. 61～75 を読み、尊厳の保持、権利擁護、エンパワメントなどについて考えてくること
		事後学習	精神障害者のリカバリーについて考察し、課題レポート②を作成すること
第15回	精神科ソーシャルワーク論Ⅰのまとめ 授業内で指定したテーマに基づくディスカッション	事前学習	テキスト、資料などを見直し、これまでに学んだことを確認してくる。
		事後学習	授業で行ったディスカッションについてまとめること。また、期末試験に向けて、各回の授業内容を再度見直し理解を深めること
期末試験			